

広く市民の皆様から、京都がもっとよくなる、もっと住みやすくなる、まちづくりの取組提案を募集中!

「まちづくり・お宝バンク」提案一覧

コロナ禍で人とのつながりに関する取組が始まっています!

取組例

01

自分の身近な人と、 本音を言い合える関係をつくりたい!

対話

家族関係

取組中

「ついつい話し合うことを避けてしまう」「言わなくてもわかってくれるだろう」「ゆっくり話すきっかけが持てない」「2人だとしても冷静に話ができない」。その裏にある「本当は話したい」を後押しし、本音の言える関係づくりを、まずは家族から実現できないか、という想いから始まりました。

お宝 No.365 家族会議レストラン

▼あなたの“半径3メートル”をもっと豊かにする「家族会議レストラン」

「家族会議レストラン」は、美味しい食事とともに、会話のきっかけとなる問いのカードが提供されるレストラン。ファシリテーターが夫婦の会話をサポートし、自然と本音が話せる場を提供する取組です。まずは身近な関係がよりよくなって、本音を言い合える人間関係の連鎖が広がっていくことを目指しています。

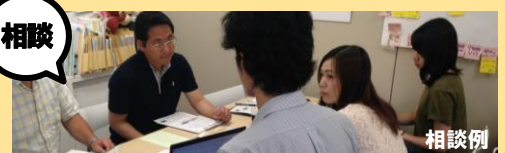
実践



広報



相談



▼市民サポーター派遣を活用

「まちづくり・お宝バンク」提案者が利用できる市民サポーター派遣を活用し「事業化」の相談。資金調達等のノウハウを持つサポーター等、幅広い視点を取り入れ、活動の骨格づくりを進めています。

調査



▼飲食業者の状況を知る

コロナ禍で打撃を受ける飲食業者にとって、本提案が付加価値となるサービスの可能性もヒアリングしています。

▼まずは「やってみる」

実際ニーズはあるか、やってみるのが一番。そこでオンラインで2回開催。一通り運営して問題点や可能性をメンバーで共有できました。

資金

▼京都市スタートアップ補助事業に申請

本格始動するにあたり、京都市の補助金に申請。「事業化」という具体的な目標を持つことで、いい緊張感も芽生えました。

▼共感の輪を広げる

「身近な家族との関係を大切に」「家族で改めてお互いを知る機会を持つ」といったコンセプトを共有してみると「面白そう」「とても共感できる」という反応を得られるそう。同時に、その機会の潜在的なニーズを実感し、活動の意欲につながっています。

▼参考:Xsector Kyoto(クロスセクター京都)から生まれたプロジェクト

本提案は2019年度からスタートした市民協働推進担当が主催の「クロスセクター京都2019」から生まれました。今年度はコロナ禍を受け、全8回すべてオンラインでワークを開催。近畿圏や関東の参加者も交え幅広いメンバーによる提案が生まれるなど、アイデアを形にし、仲間をつくって具体的な活動を立ち上げる流れが生まれています。

2019年度は対話型で実施しました。

お宝 No.386 オンライン図書室(The Book ~part of me~)

2020年度のクロスセクターからの提案例!

人生のきっかけとなった『本』を通じて、様々な世代の人の人生観を知ったり、生きる学びを得られるような「世代間交流」のプラットフォームづくりの提案。医師としての看取りの経験も活かし、今後本格始動する予定です。

▼今回の試みのポイント:活動を進めながら、自分たちの活動の骨格を定めていく

この取組でメンバーが苦慮していた点は「趣旨には共感してもらえらるけれど、活動を具体的にどう進めるべきか定まらない」点でした。またコロナ禍で改めて見直された「身近な人との関係づくり」に焦点を当てた提案である一方、対面の取組が制限される状況でした。しかし、まずは「やってみる」「聞いてみる」「調査してみる」など取組を重ねることで、「では次はこれをやってみよう」と新たな行動へつながり、活動スピードも飛躍的に上がっています。

文化と健康を掛け合わせた 取組を進めたい！

健康長寿 IT 普及

実施済

お宝 No.383 シニアを1人にさせない！京まち元気プロジェクト

▼複数拠点を結ぶオンラインイベント

提案者の増田さんは、健康づくりには「体、心、そして社会的な健康」の三つが必要なのではないか、と考えているそうです。そこで、「**文化的なアクティビティに着目した健康づくり**」を目指し、「通り名歌」を普及するという社会的な活動の役割を担いながら、健康にもつながる「丸竹夷で歌って踊ろう会」の活動を行っています。

今年度の発表会は、コロナ禍により複数拠点を中継したオンラインイベントを目指したことで、「踊ろう会」メンバーも、オンラインツールを学ぶ機会を能動的に持つようになりました。

▼シニアのオンラインスキルを上げる取組

オンラインイベントと平行して、オンラインツールの使い方講座や、京都府警察本部のサイバー犯罪対策課のセミナーを受講し、オンラインの「使いやすい部分」と「危険な部分」の両方を正しく学ぶ機会をつくっているのも特徴的です。「高齢者はIT機器を使えない」という先入観ではなく、「自分でもできる」ことを増やすことで、「他人に教えよう」という意欲や、「自分が教えられる」という自信も生まれるという効果も実感しているとのこと。



クラウドファンディングの取組も多様になってきています！

資金集めとともに、 活動のファンを増やしたい！

地域運営 学童保育

音楽文化

地域コミュニティ力の低下に加え、コロナ禍などの市民活動やまちづくり活動の中でも、クラウドファンディングによる資金調達が一般的になってきました。資金調達もさることながら、応援を募ったり、疎遠になっている繋がりのある人に連絡を取るきっかけづくりとして活用するケースが増えています。

取組中

目標
500万

お宝 No.381 みんなで協力！自治会館建設プロジェクト

▼学区外、京都外に暮らす卒業生や、保育に関心がある人のつながりも広げたい！

学区内に学童クラブがないという課題解消と併せて、現在の自治会館の場所に、念願の学童クラブを併設した新しい自治会館を建て替えるプロジェクト。コミュニティの低下が課題となる昨今、地域の拠点となる自治会館の維持の新たな在り方の一つとして、注目したいと取組です。≫クラウドファンディングサイトは[こちら](#)



実施済

目標
600万

お宝 No.361 KEEP MUSIC #音楽をつなごうクラウドファンディング・プロジェクト



▼「ドライブインシアター形式の、安心・安全な音楽フェス」を！

ドライブライブとは、ドライブインシアター形式で、車の中から野外フェスを楽しんでいただけるイベントです。コロナ禍でライブハウス、音楽スタジオ等、ミュージシャンが生演奏をする場所をつくり、音楽文化を守りたい。時代に合った安心・安全な音楽フェスを作る、第二弾のクラウドファンディングです。

≫クラウドファンディングサイトは[こちら](#)

その他、社会的に関心の高いテーマの提案も増えています！

例えば「高齢者の介護」「健康増進」など、近年社会的に関心の高いテーマの提案も増えています。

介護予防 健康長寿

「自ら健康増進に取り組める仕組みをつくりたい！」

お宝 No.372
上京スタンプラリー

健康啓発 健康啓発

「市民に有益な情報を届けたい！」

お宝 No.374
ハクジュプラザ

認知症対策 ITアプリ

「互助を育てるまちをつくりたい！」

お宝 No.376
みまもりあいアプリ団体
例

□お宝バンクの取組提案に興味をもたれた地域の方、事業者の方、関連部署の方

□行政や事業者の方とのつながりを模索中の市民の方、連携の可能性を一緒に考えます。お気軽にご連絡下さい！